

JOMF 派遣医師便り (2014. 2)

◆ジャカルタ◆

排水口

JJC 医療相談室

原 稔

浴室の排水口が詰まりました。数日前より流れが悪いのには気付いていましたが放置。ほとんど流れなくなったので、アパートのメンテナンスに連絡する事にしました。インターホンで受付に言えば担当者が来てくれるはずです。

ところがインターホンが故障で通じません。仕方なく直接受付まで行く事にしました。今度はエレベーターが止まっています。歩きました。受付嬢曰く「遅くとも 30 分以内には担当者が部屋まで伺います」と。

予想通り、30 分では来ません。ようやく現れたかと思えば、「これは自分の仕事ではない。ビルのマネジメントに言ってくれ。専用の道具を使わなければならない。それには 300,000 ルピア（約 3000 円）必要だ・・・」我慢です。

暫し押し問答の後、彼の仲間が“キューポンキューポン”を持って来ました。あっという間に詰まりは解除。気持ちばかりのチップを渡し、無事シャワーを浴びる事ができました。

「トイレの汚水が逆流してきた」「天井から正体不明の水が漏れてきた」なんて話もよく耳にします。高級アパートの住人からも聞きました。水周りのトラブルは、ジャカルタの特徴のひとつでしょう。

※ “キューポンキューポン” はインドネシア語で “KOP” というそうです。